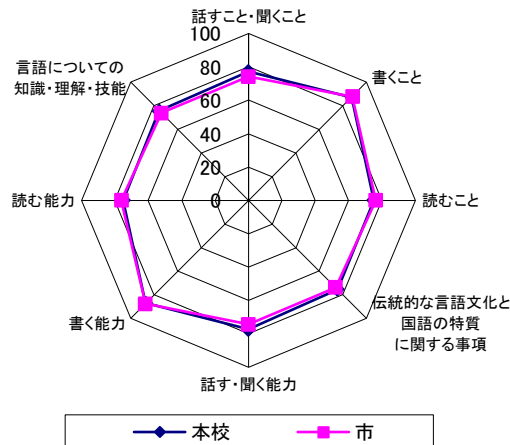


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	77.2	74.2	68.8
	書くこと	87.4	88.0	73.8
	読むこと	75.1	76.2	71.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.3	73.6	68.8
観点別	話す・聞く能力	77.2	74.2	68.8
	書く能力	87.1	87.5	73.8
	読む能力	75.1	76.2	71.7
	言語についての知識・理解・技能	75.6	74.0	68.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は77.2%と、市平均の74.2%を上回っている。 ○「話の内容を正確に聞き取ることができる」の問題では市の平均より5ポイント上回っている。 また、記述式の問題も含め、すべてで上回っている。	・話すこと・聞くことの学習材だけでなく、自分たちの発表する機会を増やしお互いの考えを伝える工夫や話し方・説明の仕方の工夫について、継続的に指導する。
書くこと	平均正答率は87.4%と、市平均の88.0%をやや下回っている。 ●「書く」に関する5項目のうち、「自分の立場を明確にして書く」という項目と「自分のとった立場の理由を書くことができる」という項目2つが、2ポイントほど下回ったからである。	・説明的文章や小説の読解などの授業でも、自分の立場を明確にして意見を書いたり、理由や根拠を明確にして書くことを意識させていきたい。 ・また、決められた時間内に書く練習などを通して、入試対策などへの対応をしていきたい。
読むこと	平均正答率は75.1%と、市平均の76.2%をやや下回っている。 ●「読む」に関する8項目のうち、4項目が市平均を下回った。特に「登場人物の心情を捉えることができる」という項目では4ポイントも下回った。	・文章中の表現に注目させて登場人物の人物像や心情を読み取らせる授業を進めていきたい。 ・文学的作品の読解力は、朝の読書などの読書量とも関わっていると考えられるので、今後も読書指導に力を入れていきたい。 ・説明文の読解については、接続語に目を向けさせ段落間の関係や、文章の構成をとらえる機会を増やしている。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は75.3%と、市平均の73.6%を上回っている。 ○漢字の読み書き問題では、市の平均を6ポイントほど上回っている項目もあった。 ●文法の助詞に関する問題は、市の平均を2ポイントほど下回っていた。	・語彙力・漢字の書き取り能力は教育活動全般に関わるものなので、今後も繰り返し学習する機会を増やしていきたい。 ・文法に関しては、習ったことも忘れてしまうことがよくあるので、文法の学習時だけでなく説明的な文章などの時にも話題に出し、繰り返し学習できるようにしていきたい。